

第8回大月市教育委員会定例会 会議録

- ・ 開催日時 令和4年10月27日（木曜日）
午前10時00分から午前11時20分
- ・ 開催場所 市役所第2庁舎3階会議室
- ・ 出席委員 宇野誠教育長、鈴木英夫教育長職務代理者、野尻正人委員
白須康子委員、山崎亜由子委員、矢光重敏委員
- ・ 出席職員 奈良教育次長兼学校教育課長、坂本社会教育課長
上條こどもの学び支援担当リーダー
藤本学校づくり担当リーダー
- ・ 傍聴人 な し

〔会 議〕

1 開会

【教育長開会宣言】

2 会議録の承認

職員が、令和4年度第7回教育委員会定例会会議録を朗読し承認された。

3 教育委員会報告

教育長から、令和4年9月29日から令和4年10月27日までの教育委員会活動が報告された。

4 議事

議案第14号 代替教員内申について

（ 非公開 ）

〔説明〕 上條こどもの学び支援担当リーダー

【原案どおり決定】

議案第15号 就学指定学校変更・区域外就学について

（ 非公開 ）

〔説明〕 上條こどもの学び支援担当リーダー

【原案どおり決定】

議案第16号 全国学力学習状況調査結果の公表について

〔説明〕 奈良教育次長

既に、前回の教育委員会で資料をお示ししてあり、説明もさせていただきましたが、その後の動きといたしましては、校長会に、この公表（案）を確認したところでもあります。

その結果といたしまして、細かな字句修正や段落替えはありますが、内容としましては、特段の変更はありませんでしたので、本日、承認をいただき、市のホームページにより公表したいと考えております。

なお、公表する際は、イラストを加え少しでも柔らかく伝わるイメージでの公表を予定しております。

説明は、以上となります。

※文章中で使用している語句について、どの問題との関連でその語句が使用されているのかとの質問があり、教育支援室の担当に直接確認していただくことになりました。また、ほかに気になるところがあった場合も、公表前に教育支援室に確認していただき、内容に関わるような大きな修正ではなく細かな字句の部分であれば相談しながら変更していただいで構わないということになりました。

※結果に関する感想やご意見・ご質問がありました。学校ごとにそれぞれの特色があり、またそれぞれ分析をしているので、来月の学校訪問の際に直接学校へ伝えていただくことになりました。

【原案どおり決定（細かい字句の部分は教育支援室と相談して変更）】

5 その他

(1) 令和5年大月市二十歳の成人式について

〔説明〕 坂本社会教育課長

令和5年大月市二十歳の成人式ですが、1月8日(日)午前10時から大月市民会館大ホールにおいて開催します。

式典につきましては、前年度と同様に新型コロナウイルス感染拡大防止対策を取りながら、式典会場には対象者のみ方の入場を今のところは考えております。また、1部のみで式典時間の短縮を図り実施します。

教育委員の皆様には、12月になりましたら、通知でご案内させていただきますが、出席に際しまして、マスクの着用、検温をよろしく申し上げます。

【了知】

(2) 大月市教育委員会学校訪問について

〔説明〕 藤本学校づくり担当リーダー

秋の学校訪問について資料を見ながら説明させていただきます。

まず、訪問日程ですが、前回の教育委員会で11月下旬のご都合を確認させていただき、その後、学校と調整した結果、日程表のとおり11月17・21・22・24日の4日間になりました。また、17日(木)については、午後3時から教育委員会を開催したいと考えております。

なお、今回は、すべての委員さんが揃って出席できる日程での調整が難しく、一部委員さんが都合のつかない日での日程となってしまいました。ご理解を頂ければと思います。よろしくお願いいたします。

次に、訪問する場所についてですが、社会教育施設については、今回市立図書館を訪問する予定で調整をしましたが、11月30日に開催される山梨県図書館大会の準備などの影響で調整ができませんでした。そこで、今回は24日の午後に教育支援センターを訪問する前の時間を使って、社会教育施設の現況について説明する時間を設けることで、施設訪問の代わりとさせていただきたいと思いますので、ご理解をお願いいたします。

次に訪問内容ですが、今回の学校教職員との懇談については2枚目の資料にありますように、4点を考えております。学校経営の状況について、ふるさと教育について、コロナ禍における学習・行事への影響、ICT教育・ICT機器活用の現状についてとします。

また、教育支援センターについても、資料のとおりとなります。

最後に集合時間ですが、17日(木)は13時20分、21・22・24日は8時40分に教育委員会集合とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

坂本社会教育課長

社会教育施設関連ということで、いくつか報告させていただきます。(図書館、市民会館の規制緩和について説明あり)

また、今回の学校訪問では社会教育施設には行かないということですが、24日の午後に各施設の近況も含め、できる限り説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

【了知】

(3) 北都留地区教育委員会連合会秋季研修会について

〔説明〕 藤本学校づくり担当リーダー

令和4年度北都留地区教育委員会連合会秋季研修会について、ご案内させていただきます。こちらは、11月10日(火)午後1時30分受付開始、午後2時開会となります。先日、お電話で日程をお知らせしましたが、その後ご都合がつかなくなった方はいらっしゃいますでしょうか。

なお、場所は大月市立図書館ですので、現地に午後1時30分から2時までの間で直接集合という事をお願いいたします。

【了知】

(4) その他

・タブレットの持ち帰りとAIドリルについて

鈴木教育長職務代理者

いよいよ端末の持ち帰りが始まり、これはとてもいいなあと思いました。またその一方で、たまたま子どもたちが使う様子を聞きまして、いくつか気になったことがありました。

まず、これは入っているソフトの状況にもよるのですが、自習的なものなの

でその程度でもいいのかとも思いますが、自分の経験上、もう少しステップを踏んだ学習ができるようにならないかなと感じました。答えがストレートに出てしまうものではなくて、どういうところを考え直せばいいか、段階を踏んで考えられるような学習ができるように、一部そういうところもあるようですが、やはりそれがこれからの課題になるのかなと思いました。

それから、子どもも性格が色々ですから、立ち上がり等が遅いと苛々してしまい、中には使っているタブレットに当たって乱暴に扱ってしまう子がいるようですので、修理とかメンテナンスとかはどうなっているのかと気になりました。今は国の補助があるのでいいかと思いますが、それが今後はどんな見通しが持てるのか、またできる自治体できない自治体があり、そういうところで差が出てくるのではないかと非常に心配しています。

すぐに対応してほしいということではありませんが、そのあたりをご配慮いただけるのか気になったところです。

宇野教育長

今現在、お答えできることがあったらお願いします。

奈良教育次長

まず、今、各学校で子どもたちがWi-Fiを使っているのですが、今年度、通信ネットワークの高速大容量化を行いました。どうしても細い線に皆が入ってしまうと固まってしまうので、次のステップへ入っていかないということがあり、線を太くしたというイメージになります。夏休みの期間を利用して行い、そこはフットワークよく動けるように改善をさせていただきました。

そして、AIドリルについてですが、多くのソフトがある中で、ベネッセコーポレーションのものを導入しました。持ち帰りが始まり、宿題としても利用しているようですが、例えば、漢字の問題だと書き順まで教えてくれます。合っていたら、そこで丸、1回目に合っていれば赤丸だけど、2回目以降になれば青丸とかになるようです。また、漢字だけではなく、国語・算数(数学)・理科・社会を基本として、もちろん英語も入っていますが、例えば5年生で出てくる問題に躓きがあったら、自動的に4年生3年生の問題に戻れるような仕組みになっています。さらには、タブレットの使用時間から、学校側はどの子が何時間勉強したとか、分析することもでき、先生の多忙化も含めていろいろな角度からいろいろな改善も見込めるようで、なかなか優れたもののソフトのようです。学校現場もそれを使い始めてきているということですので、ご案内をさせていただきました。

2つ目の心配で端末が壊れた時についてですが、実際、もうすでに何台か不慮の事故で壊れています。一番多いのは落としてしまい、画面にひびが入ってしまったというもので、タブレットが子どもたちの数より若干余分にあるというか、子どもたちの数がちょっと減ってきてタブレットの余分がありますので、今はそれを使いながら、運用させていただいています。そうはいつても故障したタブレットがある程度たまってきたら修理していかなければいけないということで、今年度はまだその修理の予算までは確保できていませんが、来年度からは予算を確保して、ある程度、修理したものをストックしながら、うまく使っていきたいと思っています。そこは運用上遅滞なく進められるように来年度は予算化をする方向で要求し、我々も動いているところです。

宇野教育長

1人1台パソコンは後戻りができないことですので、機器の更新についても説明をお願いします。

藤本学校づくり担当リーダー

機器の更新についてですが、おそらく5年なり6年なりという周期で端末の入替えをしていかなければならないと思いますので、計画的に進めていく予定です。ただ、その際に、国の補助の上限が決まっていますので、今回当初に入れた時もそうでしたが、ある程度その範囲で買えるスペックのものになるかと思います。まだ、国の補助については未定の部分もありますが、いずれにしても予算の範囲内ということになるとやはり限られたスペックの端末になってしまうかと思いますので、そのあたりはご理解いただきたいと思います。

奈良教育次長

そのへんは、国も市も県も当然課題として残っていて、財政も絡むことですので、我々も市の事業計画の中で、更新の時期というのを発信しています。また、更新の関係は大月市だけの問題ではなくて、全国的なレベルの話になりますので、県への要望、あるいは国への要望も行っています。山梨県の市長会も課題としてあげておりますし、最終的には、また国に何らかの形で後押しをしていただけるようお願いをしていくというのが現状となります。

宇野教育長

それから、4年生以上が持ち帰りをしていますので、家庭でのWi-Fiの率とか学童クラブでの話をしてもらえますか。

藤本学校づくり担当リーダー

10月から持ち帰りをしてしていますが、当初、家庭でWi-Fi環境がないような方については危惧してしまっていて、もしそういった方がいらっしゃる場合には、無償でWi-Fiルーターを貸し出すことを考えていました。通信契約に関しましては、ご家庭の負担ということだったのですが、貸出しの申請を受け付けた結果、最初は十数名の希望がありました。実際に端末の持ち帰りが始まったところ、やはり家庭に環境があったとか、おそらく家庭のどなたかが持っているスマホ等をうまく使うことができたとかで、今、申請をしている方は2名程度に減りました。ほとんどの家庭で、Wi-Fiの環境を持っていただけのような状況になっています。

学童クラブにつきましても、子育て健康課の担当の方でWi-Fiの環境を用意し、持ち帰りに合わせて、全ての学童クラブにおいてWi-Fiが使えるようにしていただきました。ただ、持ち帰りの仕方が各学校によって違い、毎日持ち帰るところと課題が出る時だけ持ち帰るところといろいろあるようですが、どの学童クラブの方でも積極的に使えるような形になっております。

宇野教育長

要保護家庭と準要保護家庭への通信費の支援についても説明をお願いします。

藤本学校づくり担当リーダー

そちらにつきましても、持ち帰りが始まって以降、1世帯あたり1月1,000円ということで補助をする形です。10月からということで3月にまとめて支給する予定となっております。

※教育長より、小中学生の子どもがいる委員に持ち帰りが始まってからの様子について質問があり、家庭での子どもの様子をお話いただきました。

宇野教育長

ありがとうございます。

今日のところはこれでよろしいでしょうか。現状はまた学校訪問の時に聞いていただけたらと思います。よろしく願いいたします。

鈴木教育長職務代理者

ありがとうございました。できる子どもはますます伸びて色々なことができるようになって、これは素晴らしいことだと思います。一方で、機械の扱いもなかなかおぼつかない子どももいて、できる子たちとの学力の格差がますます広がってしまうということを心配しています。少しでもその底辺にいる子たちの学力向上に繋がるような使い方をしていただきたい、例えば、先程の話で学習時間が出るということですが、学校の先生たちに時間がかかる子たちのフォローをしていただけるような、そういうことができるように、学校の時間を作ってやらないといけないと感じております。

宇野教育長

この間、初狩小学校に市長と視察に行き、子どもたちがAIドリルを使っているところを見てきました。昔、自分が教員だった頃には、何かの課題を出して、子どもたちが紙のドリルを解き、先生のところに来て丸をつけてもらうというやり方をしていました。丸をつけてもらうために、長い列ができて、優秀な人たちはどんどん終わっていくのですが、できない子たちは席で考えたままで、でも、先生は丸つけをしているので、その場から離れることができないという状態でした。ところが、AIドリルを使っているとその先生の役をパソコンがやってくれているので、先生は一ヶ所にいることなく見て回って、できない子たちとかあるいは操作に手間取っている子のところに行っている姿を見て、これはまた今までと違うなと思ったので、今、鈴木職務代理がおっしゃったようなところは、そういったところでフォローができるようになってくると思いました。現場のことは現場へ聞いてもらうのが一番なので、また学校の方へ様子を聞いてみてください。

貴重なご指摘ありがとうございました。

野尻委員

今のAIドリルの話は、個別学習ができるということ、自分が苦手な分野に対して下学年に渡って学習ができるということで、それを使えば自分でも現状の学力から少しでも引き上げることができると思います。

宇野教育長

すぐには結果が出ないと思いますが、1年2年と様子を見ていきたいと思います。ありがとうございました。

矢光委員

タブレットの持ち帰りが始まったということですが、持ち帰る時に何が起こるかという紛失、盗難、置忘れ等が多いのですが、その追跡隊みたいなものを作って対応するという事は考えていますか。

私は経験上そういう仕事をしていたので、社員がパソコンをなくすと企業情報がたくさん詰まっているので必ず捜索隊を出しました。その社員の足取りを全部追って、何人もの人でそのルートを全部探して歩きましたが、そうするとだいたい見つかります。見つからない時には会社の信用にもかかわるので、そういうことをしっかりやっていたのですが、学校では生徒の個人情報もあつたりするので、そのへんはどうなっているのか気になりました。

もう1点は先程、鈴木委員がおっしゃったようにハードウェアの更新が5年くらいに1回来るということで、皆さんそっちに気をとられているようですが、実はソフトウェアのバージョン情報をしっかり押さえておかないと、いきなりバージョンを変えられてしまい使えなくなるということがよくあります。ハードウェアは5年に1回で計画的にできますが、ソフトウェアのバージョン情報は意外と知られていないので、注意が必要です。機器の管理とソフトウェアのバージョン情報の管理は、両輪で動いていかないとダメですので気を付けた方がいいと思います。

藤本学校づくり担当リーダー

まず、個人情報についてですが、基本タブレットに作ったデータについては全部クラウドの方に入っていますので、個人情報は端末に残らないような状態で管理をしています。

次に入替えの時のソフトウェアのバージョンということでお話をいただきましたが、例えば、オフィスにつきましても、常に最新の情報を使えるものであったり、あとはAIドリルにつきましてもウェブ版のアプリを使っているものが多かったりするので、今までの端末にインストールして使うようなアプリよりはバージョンアップに関しての不具合とか不整合が少なくなっていますけれど、端末に入れた際はそういったところも注意しながら作業を進めたいと思っております。

- ・ 11月17日（木）午後3時00分から、令和4年度第9回教育委員会定例会を開催することを確認。

6 閉会

【教育長閉会宣言】